

バイオ医薬品を



《より長く強く》保護するための特許戦略

●日 時: 2020年10月15日(木) 10:30~16:30 ●聴講料: 1名につき 50,000円(消費税込、資料付)
 ●会 場: Zoomを使用したLive配信セミナーです。 [1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき45,000円(税抜)]
 勤務先やご自宅のパソコンでご視聴ください。 [大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]

●講師: (株)エスキューブ(株) 代表取締役/エスキューブ国際特許事務所 所長・弁理士 田中 康子 氏
 専門分野: 知的財産、医薬品特許、知財経営コンサルティング、グローバル知財人財育成

【講座の趣旨】

バイオ医薬品市場が拡大しつつあり、承認されたバイオシミラーの数も増加し始めている。同時にバイオ医薬品特許を巡る訴訟や無効審判の注目すべき判決例・審決例も出始めている。しかし、バイオ医薬品を保護する特許は、低分子医薬品とは異なる点が多く、特許戦略構築にあたっては、まだまだ手探りの部分があると思われる。本セミナーでは、バイオ医薬品をより長く強く保護するための特許戦略を構築するために、今知っておくべき制度や審判決について解説する。

1. イントロダクション「バイオ医薬品を取り巻く環境」

- 1.1 上市済(保健適応)のバイオ医薬品
- 1.2 バイオシミラーの参入状況
- 1.3 バイオ医薬品の特許に関わる最近の動向

2. バイオ医薬品の特許による保護

- 2.1 バイオ医薬品を保護する特許
物質(タンパク、抗体、核酸等)、用途、製剤、用法用量、製造法
- 2.2 バイオ医薬品特許権利化のための特許要件
新規性、進歩性、記載要件(実施可能・明確性・サポート要件)
- 2.3 外国での権利化を視野に入れた特許出願戦略

3. 医薬品を保護する特殊な制度(国内外)

- 3.1 特許期間延長制度
- 3.2 試験研究の例外規定
- 3.3 再審査期間(データ保護期間)

4. パテントリンケージ

- 4.1 日本の制度
- 4.2 米国の制度(BPCIAとパテントダンス)
- 4.3 欧州の制度
- 4.4 韓国の制度

5. バイオ後続品(バイオシミラー)対策

- 5.1 バイオ後続品の参入時期について
- 5.2 オーソライズドバイオシミラー(バイオセイム)
- 5.3 特許侵害訴訟と特許無効審判

6. バイオ医薬品に関わる最近の審決・判決例

- 6.1 先発対先発の特許侵害訴訟
エミシズマブ事件、アリロクマブ事件、抗PD-1抗体事件(和解)
- 6.2 先発対後発の特許侵害訴訟
トラスツマブ事件(和解)、リツキシマブ事件
- 6.3 審決取消訴訟
IL-17産生の阻害事件

7. まとめとQ&A

- 7.1 まとめ
- 7.2 Q&A

(項目の内容・順序は若干入れ替わる可能性があります)

略歴

1990年3月千葉大学理学部卒業
 帝人、ファイザー、住友スリーエム(いずれも知的財産部)を経て、2013年4月にエスキューブ株式会社を、同年8月エスキューブ国際特許事務所を設立し現在に至る。
 国立大学法人 東京農工大学大学院 非常勤講師
 国立大学法人 富山大学 非常勤講師(2016年度前期)

講師紹介割引申込書

「バイオ医薬品特許」セミナー

No.010103

10/15

- ・講師からの紹介として、聴講料を2割引させていただきます。
- ・2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。
- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX(03-5436-5080)にてお申込みください。

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	FAX		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) [郵送(宅配便)・FAX・e-mail]			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため		・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため	
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			

●申込方法

- 1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
- 2. お申し込み後はキャンセルできません。
 受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

- 3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
- 4. 定員になり次第、申込みは締切となります